



平成29年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年9月7日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	23,703	2.5	121	76.2	85	82.0	26	88.6
28年10月期第3四半期	24,306	3.6	511	0.3	473	4.2	229	6.6

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 46百万円 (77.3%) 28年10月期第3四半期 207百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	2.16	2.15
28年10月期第3四半期	19.00	18.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第3四半期	27,785	7,093	25.4	584.34
28年10月期	24,528	7,227	29.3	595.56

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 7,061百万円 28年10月期 7,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期		7.50		7.50	15.00
29年10月期		7.50			
29年10月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	10.9	820	10.1	780	11.3	460	21.6	38.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年10月期3Q	12,688,000 株	28年10月期	12,688,000 株
期末自己株式数	29年10月期3Q	603,482 株	28年10月期	603,482 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年10月期3Q	12,084,518 株	28年10月期3Q	12,084,518 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和の継続等により、企業収益や個人消費などが持ち直し、全体的に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の新政権による政策動向や、欧州の政治情勢などを受けて為替・株式市場が不安定に推移し、依然として景気の先行きに対する不透明感が払拭できぬ状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは平成28年11月に「峰弥書店新発田店」（新潟県新発田市）を増床・改装し、新たに「蔦屋書店新発田店」として開店したのを皮切りに、既存店のリニューアルに積極的に取り組みました。Book&Cafeスタイルの導入や、特撰雑貨・文具など販売品目の拡大・充実、そして新たなテナントの誘致により、ご来店いただくことの価値が一層高まるような店舗づくりを進めてまいりました。

当社グループでは、大型複合店舗の広い売場に、書籍、映画、音楽、ゲーム、カフェといった「日常的エンターテインメント」を集約し、眺めるだけでも楽しく、再来店したくなる売場作りを目指しております。また、書籍をきっかけとした新たなライフスタイルづくりをお手伝いする多彩な商品を取り揃え、広い世代のお客様にお買物を楽しんでいただくためのご提案を続けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23,703百万円（前年同期比97.5%）、営業利益121百万円（前年同期比23.8%）、経常利益85百万円（前年同期比18.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円（前年同期比11.4%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、特撰雑貨・文具、ゲームリサイクルの売上は好調に推移しました。特撰雑貨・文具につきましては、既存店のリニューアルに積極的に取り組み、商品の拡大・拡充を実行したことが要因です。また、ゲーム・リサイクル部門につきましては、新型ゲーム機の発売などにより好調な売上となりました。しかし、それ以外の部門の売上高は前年を上回ることが出来ず、蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は97.4%（既存店前年比96.7%）にとどまりました。

利益面につきましては、売上が減少した一方で、販管費率が上昇した結果、営業利益は前年同期比76.2%減少し121百万円、経常利益は前年同期比82.0%減少し85百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23,075百万円（前年同期比97.4%）、セグメント利益は62百万円（前年同期比14.7%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍96.3%（既存店95.9%）、特撰雑貨・文具109.9%（既存店106.4%）、レンタル87.1%（既存店87.9%）、販売用CD 92.8%（既存店94.1%）、販売用DVD 95.2%（既存店96.3%）となりました。特撰雑貨・文具は堅調に推移しましたが、その他の部門は前年の水準に達しませんでした。

②その他

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高637百万円（前年同期比104.5%）、セグメント損益は5百万円の損失（前年同期比5百万円利益増）となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比109.1%となりました。一方、スポーツ関連事業等は、売上高前年同期比90.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比3,257百万円増加し、27,785百万円となりました。これは主に商品が970百万円、現金預金が500百万円、未収入金が284百万円、それぞれ増加したことにより流動資産が1,920百万円増加し、更に、店舗の出店及び改装等に伴い固定資産が1,336百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比3,391百万円増加し、20,692百万円となりました。これは主に短期借入金1,000百万円、リース債務が1,169百万円、1年内返済借入金を含む長期借入金742百万円、買掛金431百万円、設備未払金が229百万円、それぞれ増加した一方、未払消費税が191百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比134百万円減少し、7,093百万円となりました。これは主に、利益剰余金が155百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月8日に公表した通期の連結業績予想数値を変更しておりませんが、今後、業績予想の修正が必要になった場合は速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を
第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,107	1,984,343
売掛金	220,898	288,502
商品	7,953,689	8,923,722
前払費用	290,298	314,792
繰延税金資産	48,476	26,745
未収入金	274,347	558,996
その他	28,951	124,468
貸倒引当金	△404	△406
流動資産合計	10,300,365	12,221,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,609,863	2,614,467
土地	1,583,602	1,583,602
リース資産(純額)	5,203,293	6,482,533
その他(純額)	180,120	335,349
有形固定資産合計	9,576,879	11,015,952
無形固定資産		
その他	62,747	57,706
無形固定資産合計	62,747	57,706
投資その他の資産		
繰延税金資産	432,797	414,222
敷金及び保証金	3,441,734	3,345,988
その他	713,727	730,838
投資その他の資産合計	4,588,260	4,491,049
固定資産合計	14,227,887	15,564,709
資産合計	24,528,252	27,785,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,596,671	4,027,934
短期借入金	400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,447,874	1,738,603
リース債務	1,352,802	1,751,907
未払法人税等	118,649	51,429
賞与引当金	63,000	31,000
未払金	626,879	603,895
その他	415,217	539,327
流動負債合計	8,021,094	10,144,097
固定負債		
長期借入金	4,317,946	4,769,538
リース債務	4,159,418	4,929,961
資産除去債務	485,278	496,297
退職給付に係る負債	81,497	77,566
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期未払金	81,328	116,374
長期預り敷金保証金	90,458	94,239
その他	663	1,530
固定負債合計	9,279,530	10,548,447
負債合計	17,300,624	20,692,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,177,526	3,022,340
自己株式	△270,028	△270,028
株主資本合計	7,218,559	7,063,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,468	△1,918
その他の包括利益累計額合計	△21,468	△1,918
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	22,287	23,626
純資産合計	7,227,627	7,093,330
負債純資産合計	24,528,252	27,785,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	24,306,522	23,703,673
売上原価	16,247,418	15,961,155
売上総利益	8,059,103	7,742,517
販売費及び一般管理費	7,547,797	7,620,584
営業利益	511,306	121,933
営業外収益		
受取利息	20,252	16,894
協賛金収入	24,337	21,918
その他	42,919	39,590
営業外収益合計	87,508	78,403
営業外費用		
支払利息	125,651	115,330
営業外費用合計	125,651	115,330
経常利益	473,163	85,006
特別損失		
減損損失	※ 59,228	—
特別損失合計	59,228	—
税金等調整前四半期純利益	413,935	85,006
法人税、住民税及び事業税	109,621	25,844
法人税等調整額	75,640	31,742
法人税等合計	185,262	57,587
四半期純利益	228,673	27,419
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△983	1,338
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,656	26,081

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	228,673	27,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,555	19,550
その他の包括利益合計	△21,555	19,550
四半期包括利益	207,117	46,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,101	45,631
非支配株主に係る四半期包括利益	△983	1,338

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	種類	場所
店舗	建物及び構築物 工具、器具及び備品 リース資産	新潟市江南区

当社グループは、主として店舗を基本単位として資産のグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、収益性が著しく低下した以下の資産について、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失59,228千円として特別損失に計上いたしました。

減損損失の内訳は、建物及び構築物5,366千円、工具、器具及び備品6,719千円、リース資産47,143千円であります。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを2.4%で割り引いて算定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	23,699,210	607,311	24,306,522	—	24,306,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,969	2,969	△2,969	—
計	23,699,210	610,280	24,309,491	△2,969	24,306,522
セグメント利益又は損失(△)	426,024	△11,181	414,843	96,463	511,306

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

蔦屋書店セグメントにおいて、収益性が低下した店舗資産に係る減損損失を計上しております。

なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において59,228千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	23,075,365	628,307	23,703,673	—	23,703,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,305	9,305	△9,305	—
計	23,075,365	637,612	23,712,978	△9,305	23,703,673
セグメント利益又は損失(△)	62,544	△5,550	56,994	64,939	121,933

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業及び店舗設備の維持管理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	12,688,450	52.2	12,220,823	51.5	96.3
	レンタル	3,775,884	15.5	3,287,645	13.9	87.1
	特撰雑貨・文具	2,832,359	11.7	3,113,115	13.2	109.9
	販売用CD	1,313,291	5.4	1,219,321	5.1	92.8
	ゲーム・リサイクル	1,067,127	4.4	1,114,113	4.7	104.4
	販売用DVD	825,686	3.4	786,450	3.3	95.2
	その他	1,196,411	4.9	1,333,897	5.6	111.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	23,699,210	97.5	23,075,365	97.3	97.4
その他	外部顧客に対する売上高	607,311	2.5	628,307	2.7	103.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,969	0.0	9,305	0.0	313.4
	計	610,280	2.5	637,612	2.7	104.5
合計		24,309,491	100.0	23,712,978	100.0	97.5

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード、賃貸不動産収入等で構成されております。